

| 第2期末 (2015年11月20日) | |
|--------------------|---------|
| 基準価額 | 11,502円 |
| 純資産総額 | 29億円 |
| 騰落率 | △1.4% |
| 分配金 | 0円 |

<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国債券 インデックスファンド

追加型投信／海外／債券／インデックス型

交付運用報告書

作成対象期間：2014年11月21日～2015年11月20日

第2期 (決算日 2015年11月20日)

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド」は、このたび第2期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ外国債券インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要先進国の国債に投資することにより、シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

運用経過

(2014年11月21日から2015年11月20日まで)

基準価額等の推移



| | |
|--------------------|---------|
| 第2期首 | 11,670円 |
| 第2期末 | 11,502円 |
| 既払分配金 | 0円 |
| 騰落率 (分配金再投資ベース) | △1.4% |

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはシティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なお円換算ベースの指数は、現地通貨ベースの指数を国内の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算しています。シティ世界国債インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。Citigroup Index LLCは、当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負いません。以下同じです。

■基準価額の主な変動要因

期初は、原油価格の下落や欧州中央銀行(ECB)による市場予想を上回る国債買い入れ策の実施等からユーロが下落したため、基準価額も下落しました。その後、5月から8月にかけては、日銀の追加金融緩和への期待などが円安米・ドル高要因となり、基準価額も上昇しました。8月下旬になると、新興国経済に対する不安の高まり等を背景とした投資家のリスク回避姿勢から、一時円高に振れたことを受けて基準価額は下落しました。期末にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)の年内利上げ観測の高まりなどから円安となり、基準価額も上昇する展開となりましたが、期を通じて見ると下落して当期末を迎えました。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第 2 期 | | 項目の概要 |
|----------|-------------------------|---------|--|
| | 2014年11月21日~2015年11月20日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 47円 | 0.41% | 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,553円です。 |
| (投信会社) | (21) | (0.184) | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (21) | (0.184) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| (受託銀行) | (5) | (0.043) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| その他費用 | 9 | 0.077 | その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | (3) | (0.023) | 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用 |
| (その他) | (6) | (0.054) | ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息 |
| 合計 | 56 | 0.487 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

最近5年間の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、設定時を10,000として指数化しています。

| 決算日 | | 2013年12月10日 | 2014年11月20日 | 2015年11月20日 |
|-------------------|-------|-------------|-------------|-------------|
| 基準価額 (分配前) | (円) | 10,000 | 11,670 | 11,502 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) | — | 0 | 0 |
| 税引前分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | 16.7 | △1.4 |
| ベンチマーク騰落率 | (%) | — | 17.3 | △0.9 |
| 純資産総額 | (百万円) | 14 | 1,554 | 2,910 |

(注1) 当ファンドの設定日は2013年12月10日です。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

投資環境

■海外債券市況

10年国債金利の推移



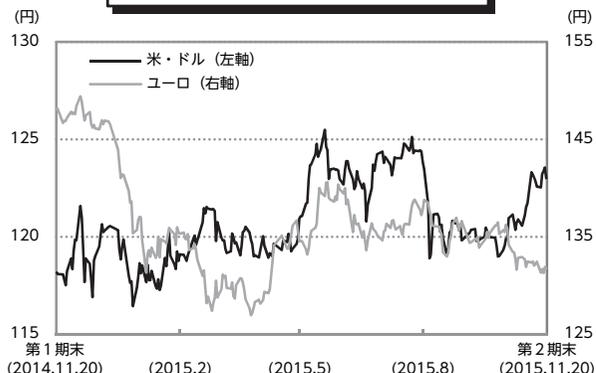
(注) 10年国債金利は、ブルームバーグのデータを使用しています。

米国10年国債金利は、期初は、世界的に軟調な経済指標や原油価格の下落を受けた低インフレ観測、また原油産出国に対する懸念の高まりなどから低下しました。その後、6月上旬にかけては、良好な米経済指標や金利上昇を容認するドラギECB総裁の発言を受けた欧州金利の上昇などから、米金利も上昇しました。期末にかけては、米利上げ観測が高まり上昇する場面もありましたが、原油安を背景としたインフレ期待の後退や新興国経済に対する不安、株式市場の急落等から投資家のリスク回避姿勢が強まったことにより低下し、結局、2.2%台で当期末を迎えました。

ドイツ10年国債金利は、期初にECBが市場予想を上回る国債買い入れ策を実施したことから4月下旬にかけて低下しましたが、その後、6月上旬にかけては、金利上昇を容認するECB総裁の発言などを受けて急上昇しました。期末にかけては、ECBの追加金融緩和期待から低下が進み、結局、0.4%台で当期末を迎えました。

■為替市況

為替レートの推移



(注) 為替レートは、対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米・ドル/円レートは、期初は世界的に軟調な経済指標や、原油産出国に対する懸念などを受けた投資家のリスク回避姿勢が円高ドル安要因となった一方で、FRBの年内利上げ姿勢、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)による外国証券投資拡大への期待等が円安ドル高要因となり、横ばい推移となりました。その後、新興国経済に対する懸念などを受けた投資家のリスク回避姿勢から、一時円高に振れる場面もありましたが、FRBの年内利上げ観測や日銀の追加金融緩和期待等が円安ドル高要因となり、結局、122円台後半で当期末を迎えました。

ユーロ/円レートは、期初にECBが市場予想を上回る国債買い入れ策を実施したことなどから下落基調で推移しました。その後、期央にはユーロ圏インフレ指標の改善等から上昇しましたが、期末にかけては新興国経済に対する懸念の高まりやECBの大幅な追加金融緩和期待等が円高ユーロ安要因となり、結局、131円台後半で当期末を迎えました。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

ポートフォリオ

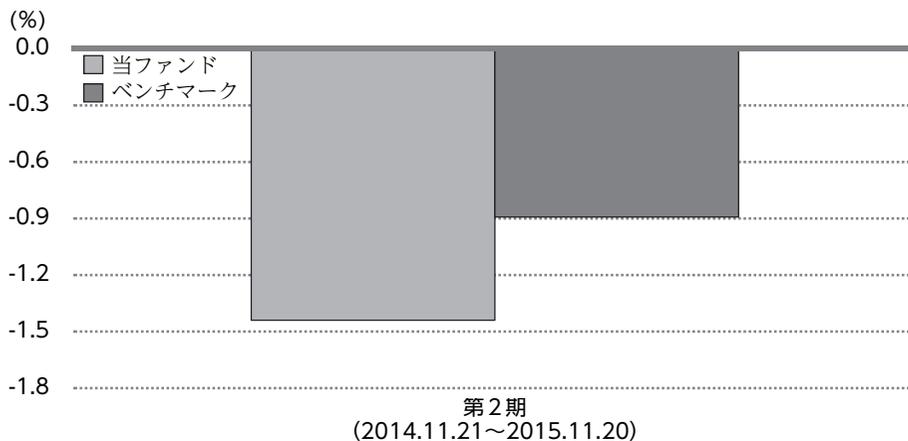
■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保つ運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

日本を除く世界主要先進国の国債に投資することにより、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-1.4%となり、ベンチマーク騰落率（-0.9%）を下回りました。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|-----------------------------|
| | 2014年11月21日 ～2015年11月20日 |
| 当期分配金（税引前） | — |
| 対基準価額比率 | — |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,501円 |

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要先進国の国債に投資することにより、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

■マザーファンド

日本を除く世界主要先進国の国債に投資することにより、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

| | 第2期末 |
|---------------------------|-------------|
| | 2015年11月20日 |
| ニッセイ外国債券 インデックスマザーファンド | 100.0% |

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

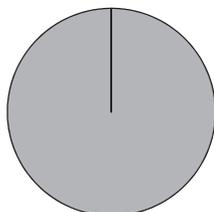
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

| 項目 | 第2期末 |
|------------|----------------|
| | 2015年11月20日 |
| 純資産総額 | 2,910,092,849円 |
| 受益権総口数 | 2,530,130,285口 |
| 1万口当たり基準価額 | 11,502円 |

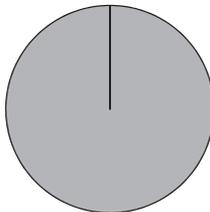
(注) 当期間中における追加設定元本額は2,417,513,196円、同解約元本額は1,219,419,145円です。

■資産別配分



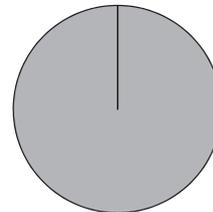
親投資信託受益証券
100.0%

■国別配分



日本
100.0%

■通貨別配分



円
100.0%

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

ニッセイ外国債券インデックスマザーファンドの概要

■基準価額の推移



(注) ベンチマークはシティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なお円換算ベースの指数は、現地通貨ベースの指数を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しています。シティ世界国債インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。Citigroup Index LLCは、当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負いません。

■上位銘柄

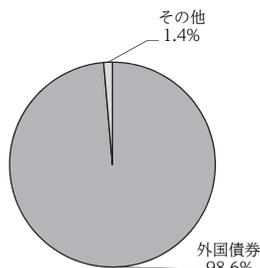
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------------------------|------|------|
| US TREASURY N/B 3.125% 2017/1/31 | 米・ドル | 2.4% |
| US TREASURY N/B 1.25% 2019/10/31 | 米・ドル | 1.1 |
| US TREASURY N/B 0.875% 2017/10/15 | 米・ドル | 0.9 |
| US TREASURY N/B 0.625% 2017/8/31 | 米・ドル | 0.8 |
| US TREASURY N/B 2.375% 2017/7/31 | 米・ドル | 0.8 |
| US TREASURY N/B 3.5% 2018/2/15 | 米・ドル | 0.8 |
| US TREASURY N/B 4.5% 2017/5/15 | 米・ドル | 0.7 |
| US TREASURY N/B 1.625% 2019/12/31 | 米・ドル | 0.7 |
| US TREASURY N/B 0.75% 2017/3/15 | 米・ドル | 0.7 |
| US TREASURY N/B 2.625% 2020/11/15 | 米・ドル | 0.7 |
| 組入銘柄数 | 521 | |

■1万口当たりの費用明細

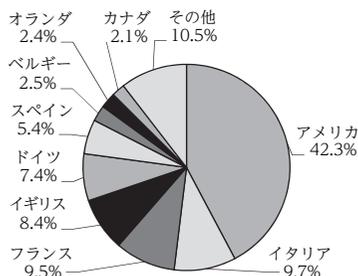
(2015.5.21～2015.11.20)

| 項目 | 金額 |
|----------------|-----------|
| その他費用 (その他) | 4円 (4) |
| 合計 | 4 |

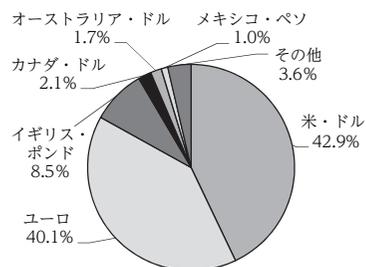
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページの注記をご参照ください。

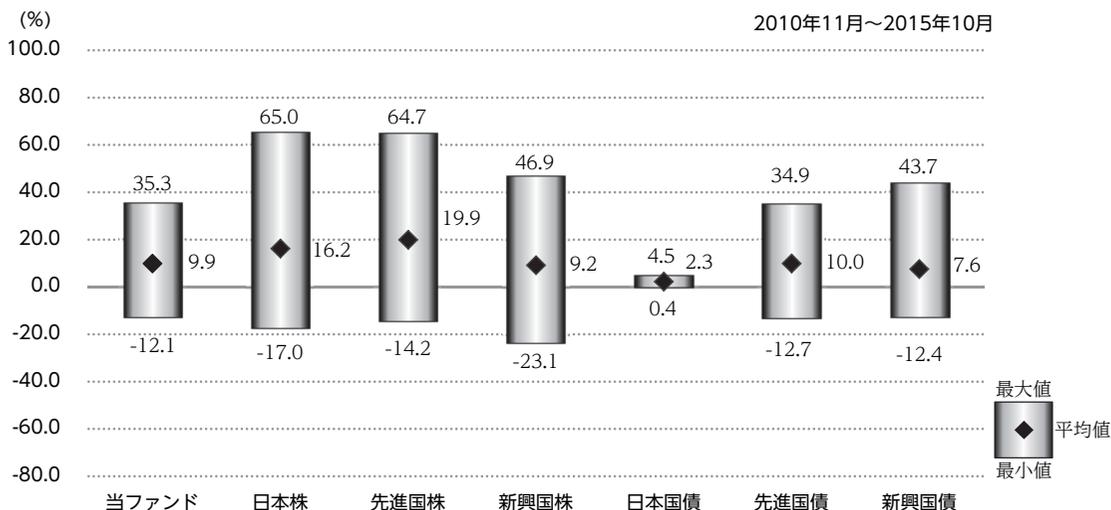
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2015年11月20日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 2010年11月～2015年10月の5年間における1年リターンの平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、設定日以前のデータはファンドのベンチマークを用いて騰落率を算出しています。したがって、すべてがファンドの実績ではありません。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

・TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
 ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 ・MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 ・NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
 ・シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
 ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

2014年12月1日以降に作成基準日を迎える運用報告書は、「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」の2段階で発行することが義務付けられました。当ファンドは、投資信託約款において、「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法（当社ホームページに掲載する方法）によりご提供する旨を定めていますので、受益者様には「交付運用報告書」のみを交付させていただきます。

「運用報告書（全体版）」の交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用体制の変更について

運用部門の担当役員2名（取締役執行役員CO-CIO、執行役員CO-CIO）のうち1名（取締役執行役員CO-CIO）が担当をはずれました。

なお、残る1名については同日付で執行役員CO-CIOから取締役執行役員CIOに昇任しています。
(2015年3月25日)

■約款変更

「投資信託及び投資法人に関する法律」ならびに一般社団法人投資信託協会規則の改正に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)

<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国債券インデックスファンド

当ファンドの概要

| | | |
|---------|--|---|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／海外／債券／インデックス型 | |
| 信 託 期 間 | 無期限 | |
| 運 用 方 針 | 主にニッセイ外国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要先進国の国債に投資することにより、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標とします。 | |
| 主要運用対象 | <購入・換金手数料なし> ニッセイ外国債券 インデックスファンド | ニッセイ外国債券インデックスマザーファンド受益証券 |
| | ニッセイ外国債券 インデックスマザーファンド | 日本を除く世界主要先進国の国債 |
| 運用方法 | <購入・換金手数料なし> ニッセイ外国債券 インデックスファンド | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 |
| | ニッセイ外国債券 インデックスマザーファンド | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分 配 方 針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 | |